

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

【為替】

COPOMでのSelicレート据え置きとフォワードガイダンス(期待インフレ率がインフレターゲットに十分に近づくまでは、低金利政策を維持)の廃止が予想される中、取引開始より緩やかにレアル高が進行。米国ではバイデン大統領就任式が行われ追加景気刺激策への期待が高まる一方、ブラジルでは国内で生産するオックスフォード大学・アストラゼネカ社共同開発の新型コロナウイルスワクチンの初回投与が、中国からの物資到着遅延に伴い3月迄延期との報道により方向感がつかめない展開となり、5.30レアルにて取引を終えた。

尚、COPOMでは事前の予想通りSelicレートの据え置き(2.0%)に加え、フォワードガイダンスの廃止を決定した。

【株式】

ブラジルでのオックスフォード大学・アストラゼネカ社共同開発の新型コロナウイルスワクチン初回投与が3月迄延期されたことで、政府がより多くの追加財政支援を実施しなければならないとの見方から財政悪化懸念が拡大し、ボベスパ指数は119,000ポイント台まで下落した。

【その他】

・ブラジル1月IGP-Mインフレ率(第2回目プレビュー):+2.37%(市場予想:+1.75%、前回:+1.18%)

・COPOM: Selicレートを2.0%に据え置き。フォワードガイダンスは茲許の経済指標とインフレ予測から維持できないと判断。但し、現時点で経済成長不確実性が非常に強力な金融刺激を必要としている中、フォワードガイダンスの廃止が機械的に利上げを意味するものではないことを改めて強調。

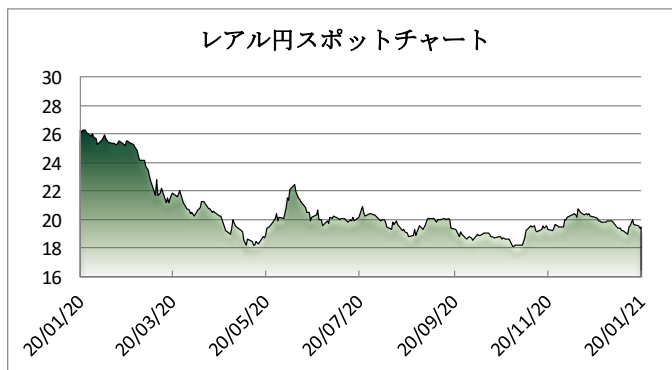
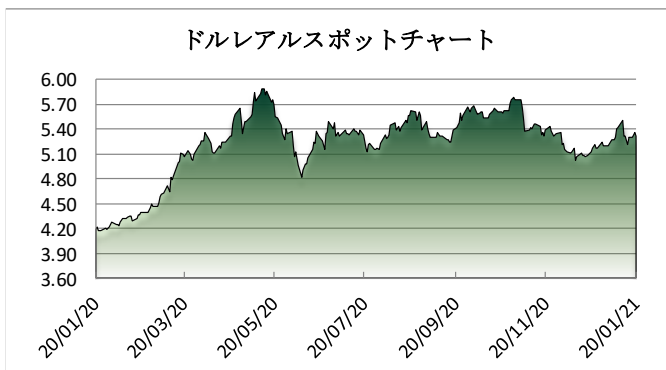
【COVID-19 感染者総数(1/20時点)】

ブラジル全体: 8,638,249人(前日比+64,385人)、サンパウロ州: 1,658,636人(前日比+14,411人)

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月19日	1月20日			(年初来) 高値	(年初来) 安値
					前日比	1ヶ月前比		
レアル	対ドル	BRL	5.3518	5.3083	0.81%	-4.39%	5.1210	5.5160
	対円	JPY	19.41	19.51	-0.51%	3.66%	20.09	18.90
	対ユーロ	BRL	6.4925	6.4276	1.00%	-3.24%	6.2961	6.7066
円	対ドル	JPY	103.90	103.54	0.35%	-0.23%	102.59	104.40
	対ユーロ	JPY	126.02	125.35	0.53%	1.00%	125.09	127.49
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	120,636	119,646	-0.82%	1.37%	125,324	116,756
CDS Brazil 5yrs		bps	169.70	167.74	1.16%	-12.62%	170.36	141.37
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7.53	7.58	0.62%	5.25%	7.66	6.87
DI Future Jan22 (金利先物)		%	3.240	3.245	0.15%	9.26%	3.35	2.82
3 Months US Dollar Libor		%	0.22363	0.22238	-0.56%	-5.67%	0.2413	0.2224
CRB Index (国際商品指数)		Index	174.85	175.14	0.17%	5.22%	176.84	166.34

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。